

以下の研究テーマを追加します。ご確認ください。

窓の歴史工学－柱間装置の文化史

〈柱間装置〉の発生と展開、類型を世界文化史的に考えるゼミ。

文献研究、ならびに現地フィールドワーク。

柱と柱の間を柱間という。柱間装置とはその間に充填される壁や、各種建具などのすべての建築装置である。このゼミは三年計画で、軸組み構造を基本とした建築の柱間装置の指摘展開と、これからのあり方を具体的に検討し、提案するものである。YKKAP・窓研究所との連携によって行う。本年度は助走研究期間である。中谷、修論生一人、卒論生一人にて進める予定である。卒論生は修士希望で、進学以降もこのゼミに関与することを希望する。(中谷)

例：

1. カタログ・世界の柱間装置
2. 柱の立て方と共同体－柱間装置史序論
3. 実地調査 アジア木造建築の柱間装置
4. 実地調査 ユーラシア石造文化圏の柱間装置

(瀬尾 seokenji@mac.com)

○建築史系研究室 卒業論文説明会

日時：1月29日 15時～16時

場所：55号館S棟2階第三会議室

○建築史系研究室 個別説明会・オープンルーム

日時：2月13・14日 13時～17時

※中谷先生との面談可能な時間帯は13～15時

場所：中谷研究室

上記日程に限らず、興味のある分野・テーマについては連絡担当者個別に連絡することで、随時オープンルームを行っています。

○建築史系研究室 選考日

日時：2月27日 13時～17時

場所：中谷研究室

卒論着手条件：原則として学部3年生までの「建築専門必修科目」の履修を済ませておく必要がある。その他に建築史系の科目の履修を済ませていることが望ましい。

※中谷研究室選考に関する注意

志望動機について、10分程度の面接を行う。面接には志望理由書(書式自由)を持参する。適宜、講義、作品成果、ポートフォリオ等の各自の資料を持参することは自由である。判断結果は入室の確約を学生側に求めるものではない。選考に参加し入室を承認された学生は、複数の他研究室の選考を経た後においても本研究室への入室を希望することが可能である。

なお当日の参加が困難な場合は、前もって下記連絡先に連絡すること。別途日程を指示する。

中谷礼仁研究室連絡先

<http://www.nakatani-seminar.org/2009/contact.html>